

学部 / 人間科学領域 / 人間の理解 科目コード : 110113 表現学 Expression					
担当教員	深澤 のぞみ				
実務経験					
開講年次	2年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	対人コミュニケーション、言語コミュニケーション、非言語コミュニケーション、敬語				
学習目的・目標	<p>この授業の目的は、医療現場、特に看護現場に必要な情報をどう表現し、どう共有するのが有効かを理解し、適切なコミュニケーションを実践できるようになることです。</p> <p>そこで、まず言語学、社会学、心理学など様々な学問分野におけるコミュニケーションに関する基礎概念を学びます。そして、人間関係の世代差、性差、地域差、文化差、また医師・看護師・患者という立場の差と対人コミュニケーションについて考察します。</p> <p>これらの理解に加え、看護大学の学生として必要となる、Eメールやプレゼンテーション、レポートなどでのコミュニケーション方法についても触れます。</p> <p>この授業では、単に講義を聞くのではなく、看護場面や実習先、あるいは大学での具体的な表現方法を修得することを目指すため、実践的な活動を重視します。</p>				
授業計画・内容					
回	内容				
1	オリエンテーション。コミュニケーションの基礎				
2	言語学や社会学、心理学などの分野におけるコミュニケーションの基礎概念				
3	対人コミュニケーションの特徴、Eメールの書き方①				
4	対人コミュニケーションと対人技能、Eメールの書き方②				
5	言語コミュニケーション（1）日本語の特徴との関連、プレゼンテーションの方法①				
6	言語コミュニケーション（2）敬語や適切な表現、プレゼンテーションの方法②				
7	非言語コミュニケーション 表情やジェスチャー、プレゼン演習①				
8	患者への言葉使いの諸問題、レポートの書き方①、プレゼン演習②				
9	看護場面のコミュニケーション 成人看護、レポートの書き方②、プレゼン演習③				
10	看護場面のコミュニケーション 老人看護、レポートの書き方③、プレゼン演習④ レポート課題				
11	看護場面のコミュニケーション 小児看護、プレゼン演習⑤				
12	看護場面のコミュニケーション 母性看護 レポート提出				
13	看護場面のコミュニケーション 在宅看護				
14	看護場面のコミュニケーション まとめ				
15	まとめ 試験				
教科書	授業中に指示します。				
参考図書等	授業中に指示します。				
評価指標	授業への参加度15%、課題や発表45%、期末試験40%（3分の2以上の授業出席が必須）				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	<p>この授業では、受講生同士で様々なタスクを行います。コミュニケーションに関する知識を習得するだけでなく、実際のコミュニケーションスキルを身につける機会でもあります。ぜひ、積極的な参加を心がけてください。</p> <p>なお、この授業の情報は、「表現学」ウェブサイト hyogengaku.jimdo.com にアップします。</p>				